



内牧温泉

明治30年、地元の人が灌漑用の井戸を掘っていて、たまたま湯が噴き出しました。この小さな出来事が大きな福音をもたらし、内牧では掘湯ブームが起き、県内有数、阿蘇谷最大の温泉地に成長しました。多くの文化人も訪れ、阿蘇の大自然に心打たれ、優れた作品を数多く残しています。現在は、映画の撮影があるなど、多くの人々が愛する温泉街として今も知られています。



地域活性化に向けたセミナーの様子

内牧地区は、明治30年から温泉郷として栄え、温泉街の道沿い約1kmに商店街が形成され、地元と密着した商店街として、なくてはならない存在となっています。

内牧温泉街では、各種団体・商店主・商工会・行政等様々な人が参加する「内牧温泉街繁栄会」を組織し、まちづくりのビジョンと活性化に向けた方策を検討しています。

また、経営者の意識向上のため、内牧温泉の旅館のおかみさんによる勉強会の実施や、商店主による地域づくり活動など、活性化に向けて取り組んでいます。



内牧温泉街繁栄会の活動

地場企業の生産工場増設が続いており、雇用機会が拡大されています。

均衡ある発展を実現するために、今後も優良企業や施設の誘致に努め、若い世代のための魅力ある就業機会の創出に積極的に取り組めます。



赤水地域への企業誘致



地域を活性化する商店街の取り組み

阿蘇市では、行政・各種団体・地域住民が一丸となり、地域活性化に取り組んでいます。

宮地地区は、阿蘇神社の門前町として、神社の参道から延長して商店街が形成されています。株式会社まちづくり阿蘇一の宮（TMO構想）による阿蘇神社の周辺整備や、一の宮ボランティアガイド

によるサービスの実施、地元商店街有志の「仲町繁栄会」や、後継者たちによる阿蘇町門前長商店街振興協会の活動が活発です。水基巡りを核とした地域おこしで商店街の結束と意欲を高めています。

その活動が実を結び、現在では1年を通して観光客が訪れるなど、阿蘇市を代表する商店街となっています。



門前町水基巡り

阿蘇神社周辺の商店街には、「水基」と呼ばれる湧水を利用した水飲み場があります。地元では、この水基を巡りながら商店街を散策できる仕組みをつくり、魅力アップとにぎわいのある商店街づくりを進めています。

資源を生かした地域振興 活力ある産業づくり



阿蘇市では、サイクルツーリズム推進のために「阿蘇サイクルツーリズム学校」通称『コギダス』を発足しました。サイクリングを通して、阿蘇を訪れる人と、阿蘇にお住いの皆様に町の魅力を発見してもらうことが目的です。

サイクルツーリズムとは、自転車を通じて交流を図る観光のことで、自転車ならではの利点を生かして、阿蘇の日常風景、「食」や「人々との触れ合い」を楽しむ新しい観光スタイルです。

コギダスでは、サイクリストを魅了する様々な魅力をアクティビティや観光スポット等の切り口からご紹介します。

コギダスHPアドレス：<http://kogidasu.jp/>

